



# 個人投資家向け会社説明会

STOCK CODE:7177

2017年5月28日

1. 企業グループの概要
2. 成長戦略と概況
3. 株主還元

# 1. 企業グループの概要

# 企業概要

商号	GMOクリックホールディングス株式会社	上場年月日	2015年4月1日
代表者	代表執行役社長 鬼頭 弘泰	1単元の株式数	100株
設立	2012年1月	株価※2	771円
証券コード	7177 (東証JASDAQスタンダード)	時価総額※3	916億円
グループ事業概要	ネット証券事業、FX事業		
主要株主/ 持株比率※1	GMOインターネット株式会社 81.00%		
連結子会社数	6社 (国内2社・海外4社)		
資本金※1	545百万円		
連結従業員数※1	277名		

※1：2017年3月31日現在、※2：2017年5月19日終値  
※3：2017年5月19日終値を用いて算出

## 安さと使いやすいサービスを武器に成長。海外でも事業を展開



**2005年10月**  
GMOインターネット証券  
(現GMOクリック証券)設立

2005

2006

**2006年5月**  
オンライン証券取引サービス開始  
**2006年10月**  
店頭FX取引サービス開始



香港  
進出

**2012年8月**  
香港子会社でFXサービス  
提供開始

2010

**2010年4月**  
CFD取引サービス開始

**2012年1月**  
GMOクリックHD設立

2012

FXプライム by GMO



**2012年9月**  
FXプライム (現FXプライム  
byGMO) を連結子会社化



ロンドン  
進出

**2015年3月**  
英国子会社でFX・CFDサービス  
提供開始

2015

**2015年4月**  
GMOクリックHD上場  
(東証JASDAQ)

2016

**2016年2月**  
新FXシステム稼働開始

## 個人投資家を中心とする国内外のお客様に インターネット金融サービスを提供

### 取引所取引

### 店頭取引

概要

取引所を介して行われる取引

投資家と証券会社等との相対取引

主な商品

株

先物  
OP

365  
FX

店頭  
FX

外為  
OP

CFD

収益源

手数料・金利\*

スプレッド等

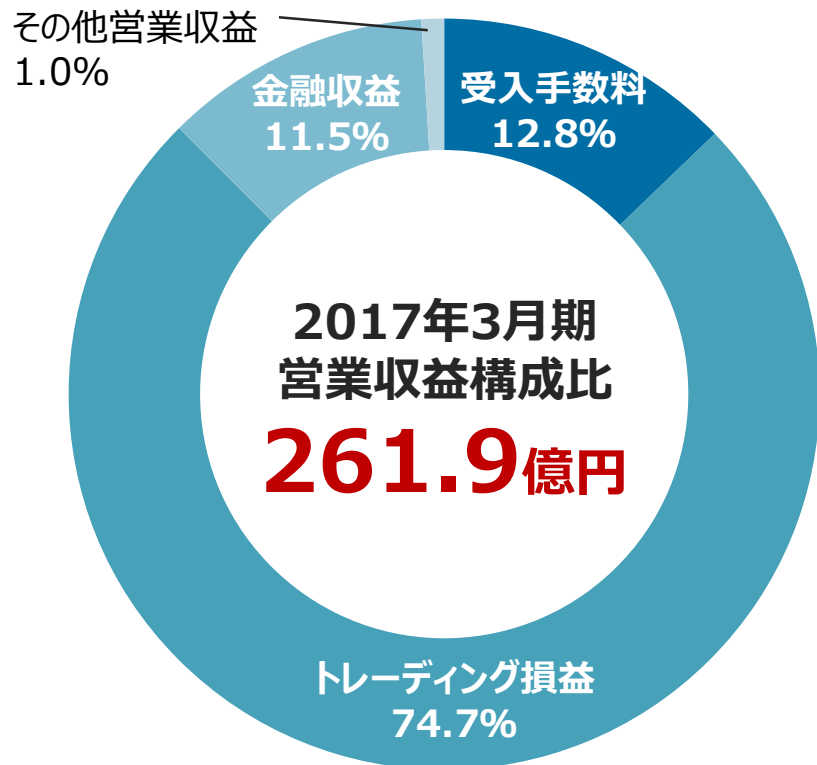
PL科目

受入手数料・  
金融収益

トレーディング損益

※株式信用取引に係る金利

FXなどの店頭デリバティブ取引が収益を牽引



受入手数料 **33.5億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

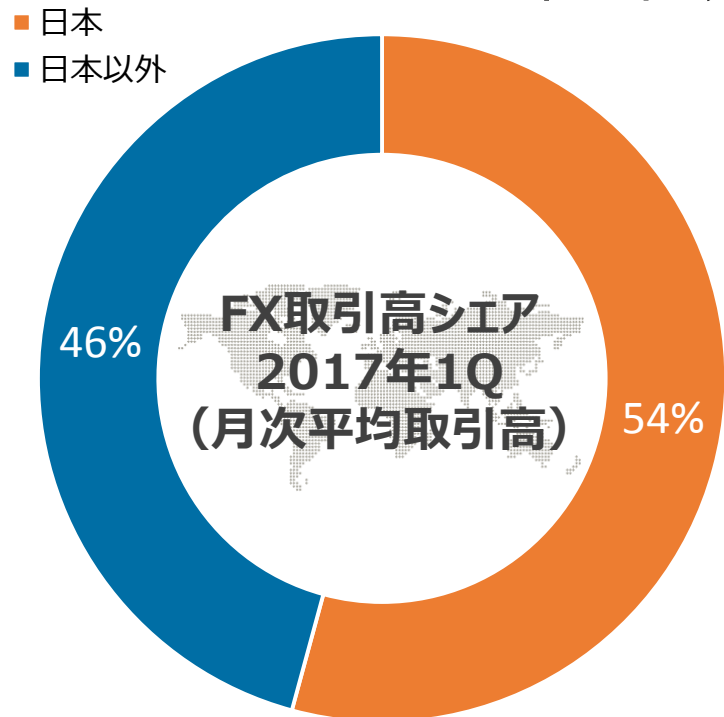
トレーディング損益 **195.7億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

金融収益 **30.1億円**

- 信用取引等から得られる収益

## 日本の個人投資家によるFX取引は世界の約半数を占める 日本は世界で一番大きなマーケット



### 日本におけるFX発展の背景

株式投資と比較し、投資対象の選定が容易

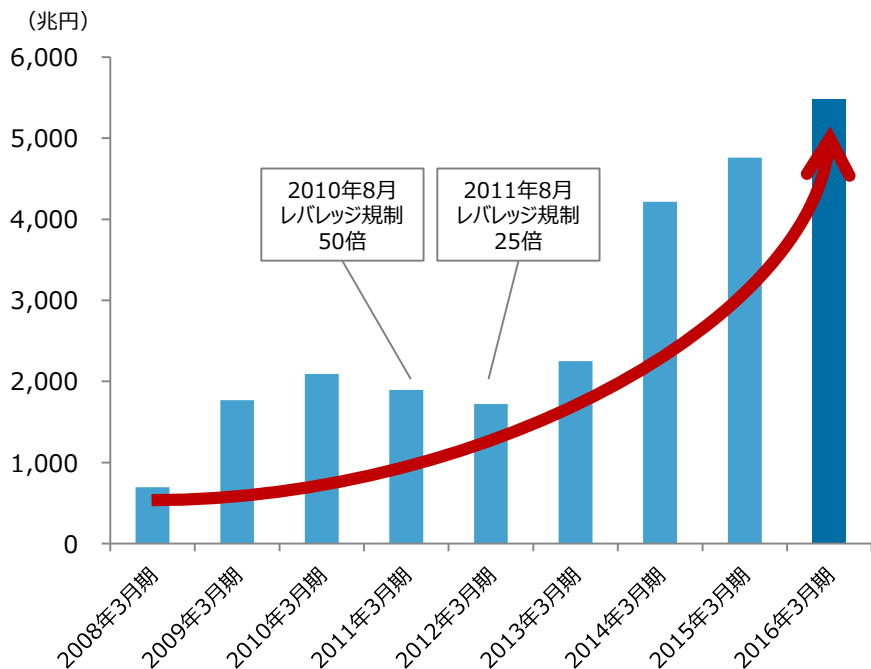
少ない資金でレバレッジを効かせた取引が可能

24時間取引可能で、投資機会が多い

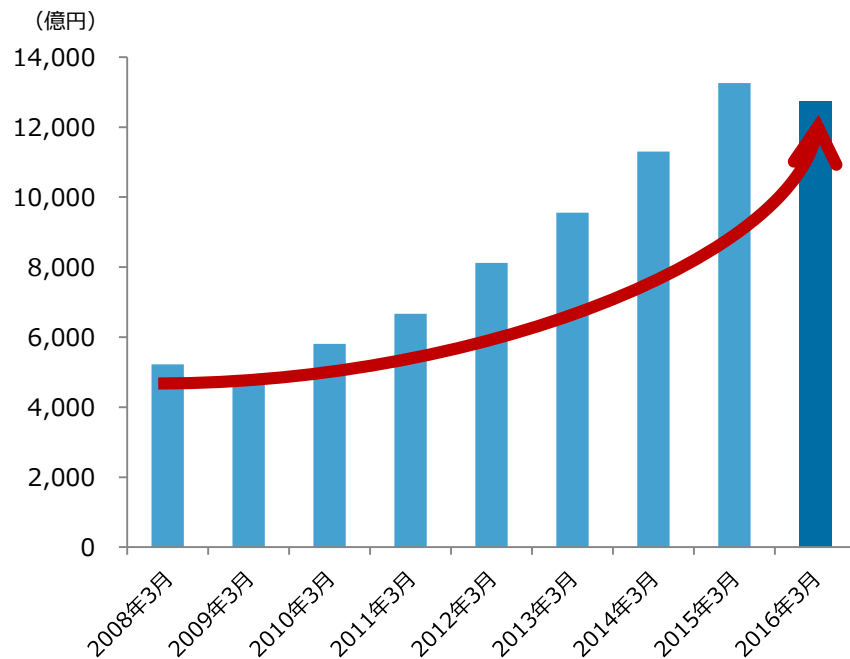


## 国内店頭FX市場は大きく成長

### 店頭FX取引高



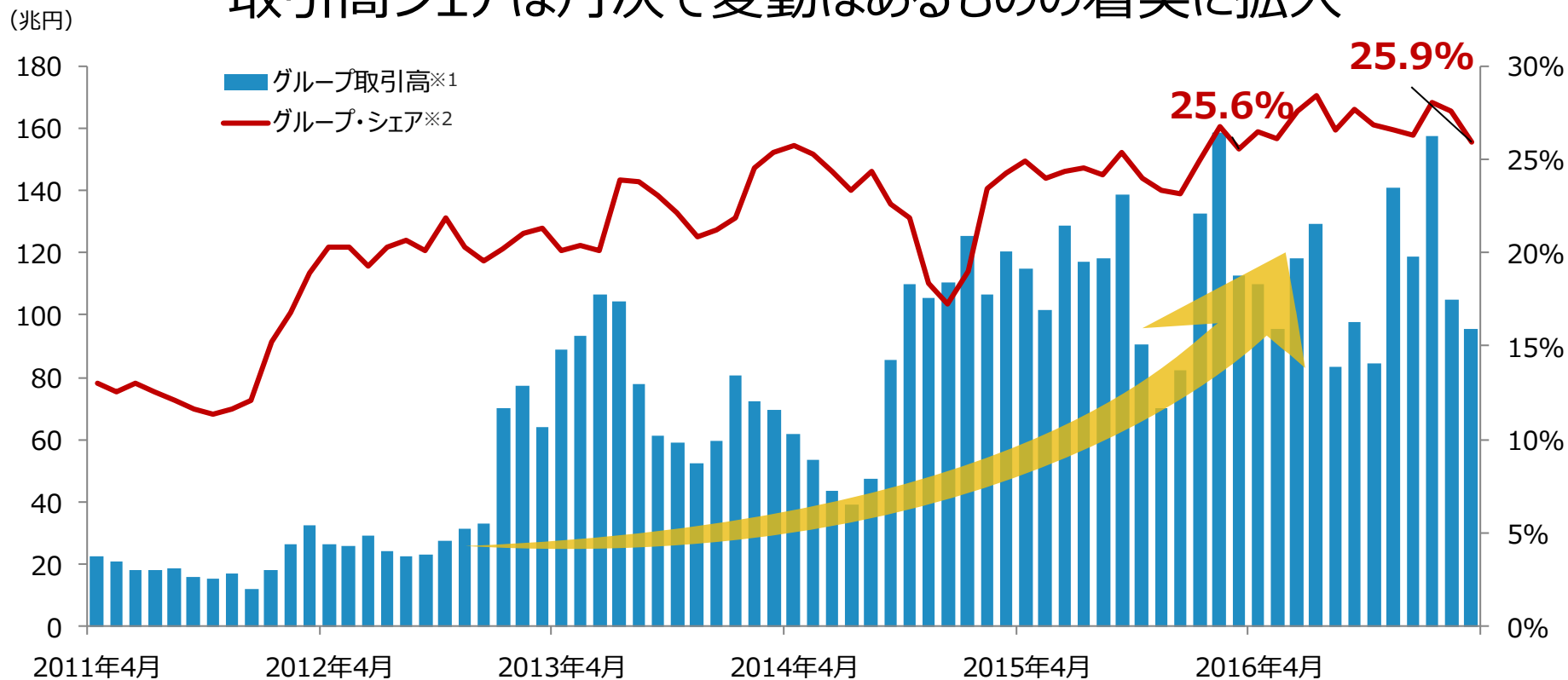
### 店頭FX預り証拠金残高



出所：金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

# 国内店頭FXにおける当社グループ取引高・シェアの推移

## 取引高シェアは月次で変動はあるものの着実に拡大



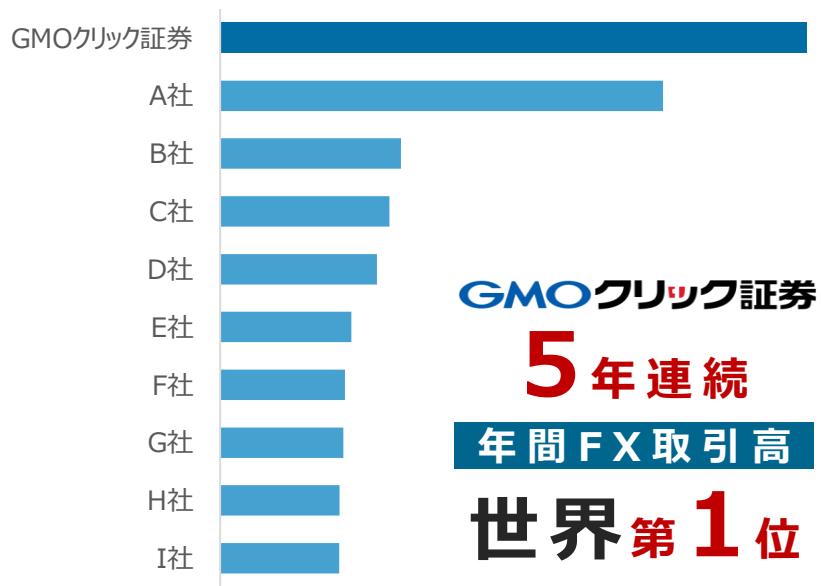
出所：当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※1 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値

※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

## FX会社比較

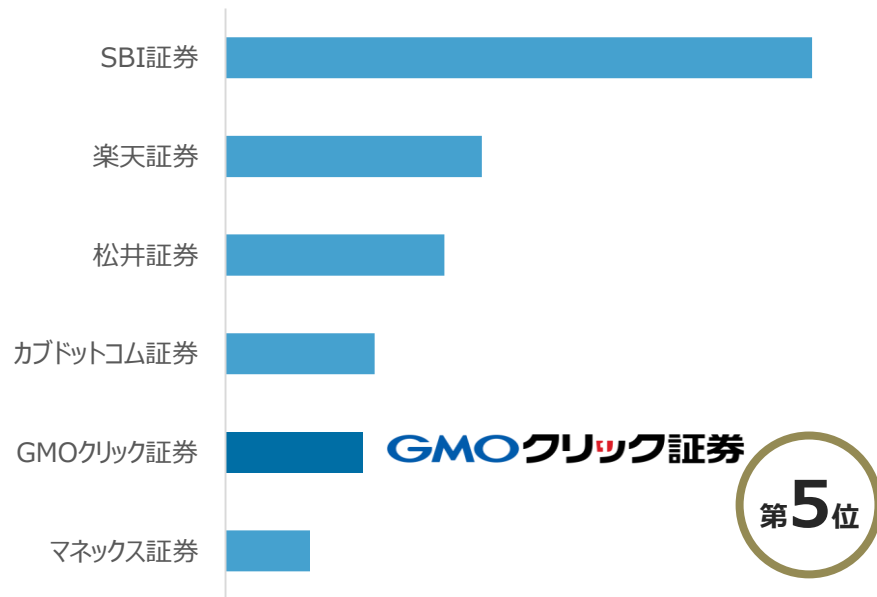
2016年世界上位10社のFX取引高



※Finance Magnates「2016年年間取引高調査報告書」において、2016年1～12月のFX取引高（売買代金/ドル換算）1位を獲得

## 主要ネット証券比較

2017年3月期株式委託売買代金



出所：各社公表資料より当社作成

## 高い技術力を強みにシステムの開発・保守・運用を内製化

- システム内製化により、システム開発コストを低減。価格競争を起こし顧客基盤・マーケットを拡大
- 顧客ニーズ・マーケットの変化にスピーディに対応

安さ

業界最安値水準の  
手数料・スプレッド

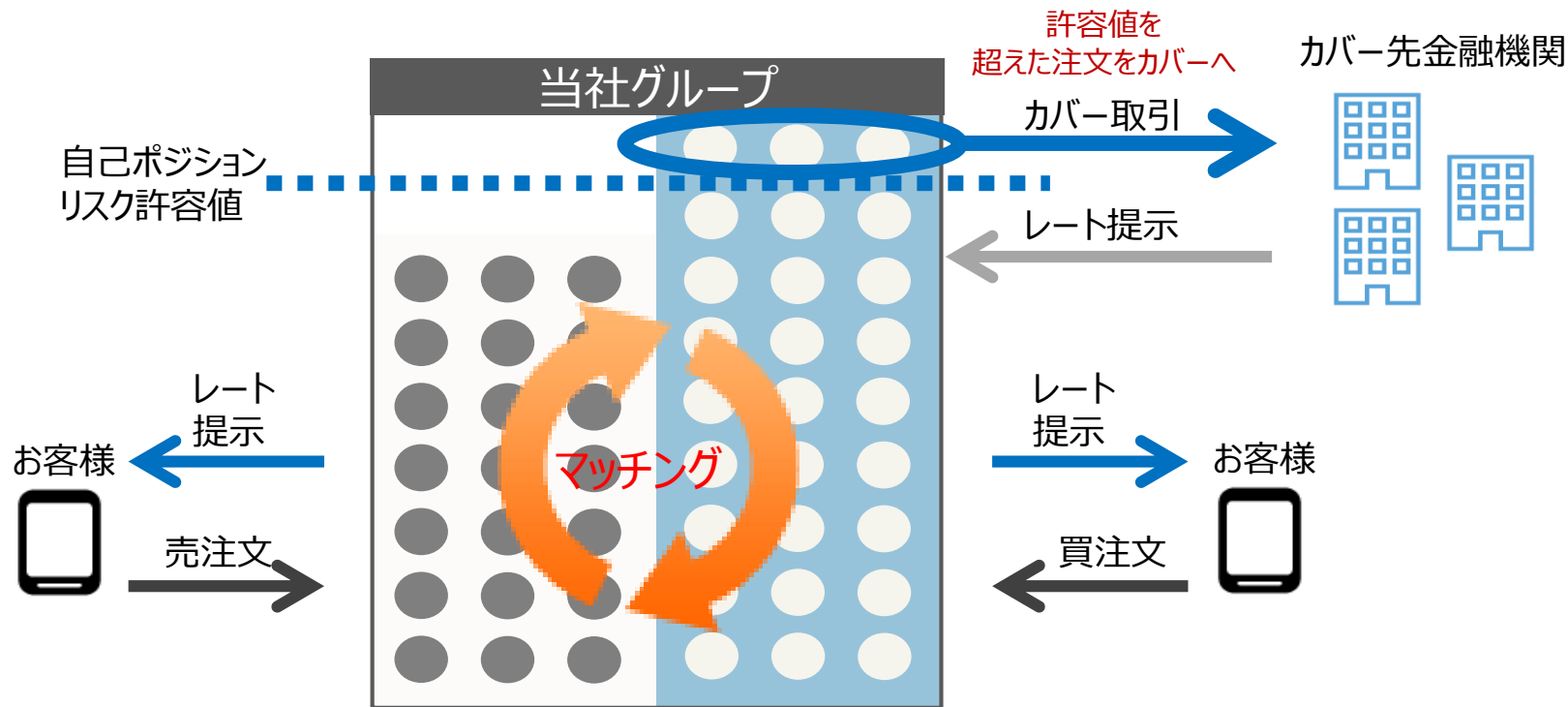


使いやすさ

簡単操作・高機能  
取引ツール



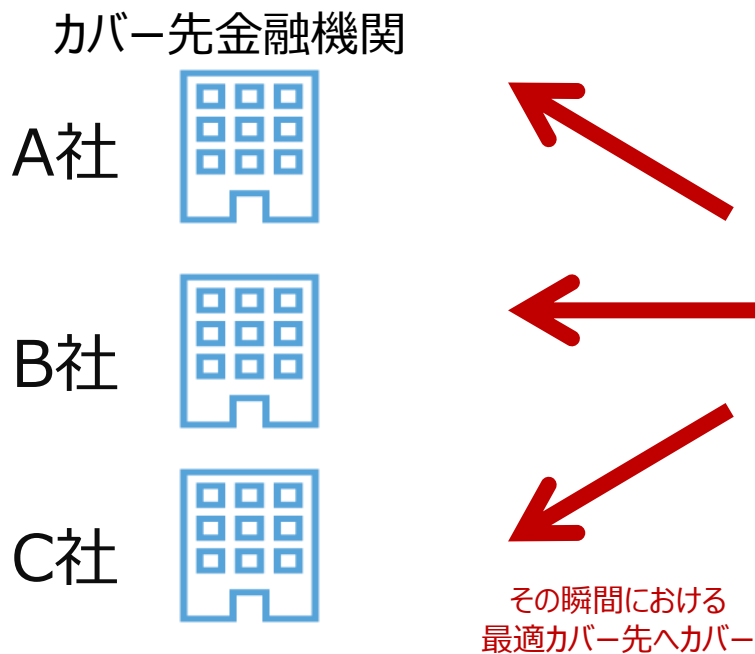
## 効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

# FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

当社グループはFXディーリング業務をシステムにより完全自動化  
上手にシステム設定をして、カバー取引を最適化



(上記は概念図)

# ボラティリティと収益の関係

収益  
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバー取引}$$
$$(\text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量}) - (\text{カバースプレッド} \times \text{カバー数量})$$

取引量

カバーコスト

ボラの上昇

増加

増加

ボラの低下

減少

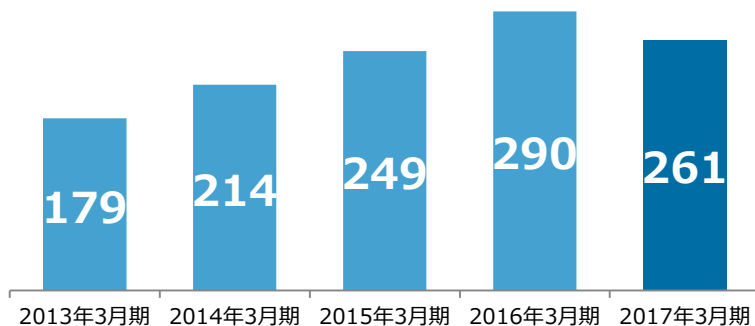
減少

(上記は概念図)

# 業績推移

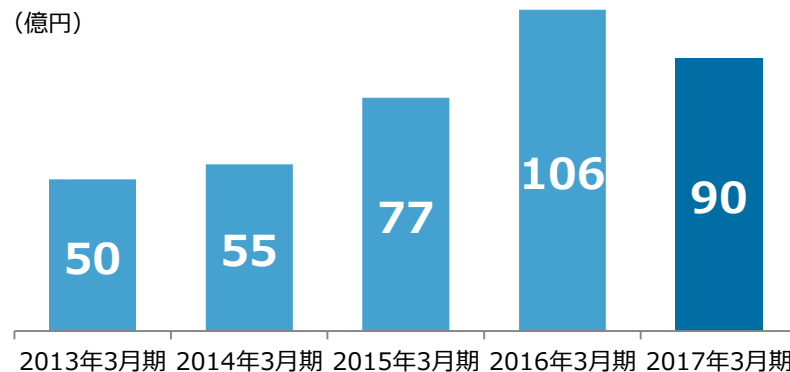
## 営業収益

(億円)



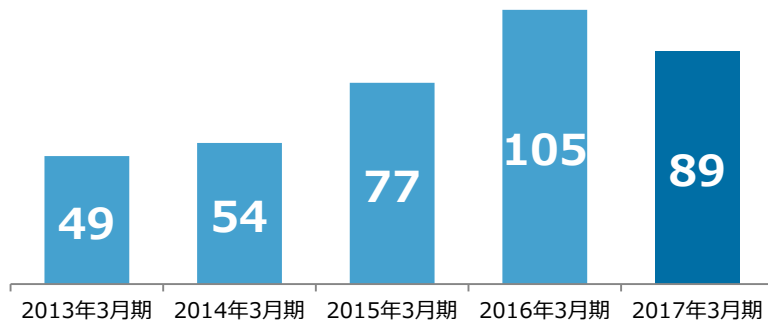
## 営業利益

(億円)



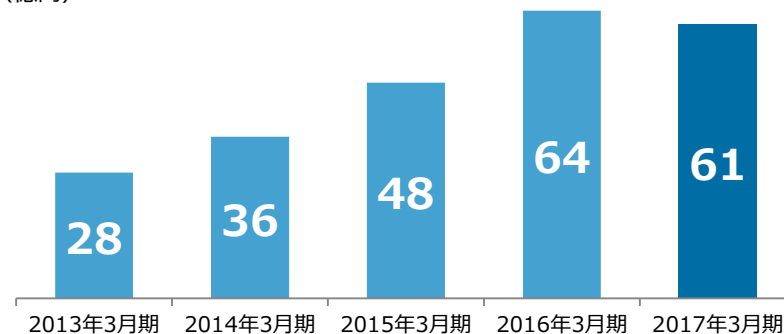
## 経常利益

(億円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

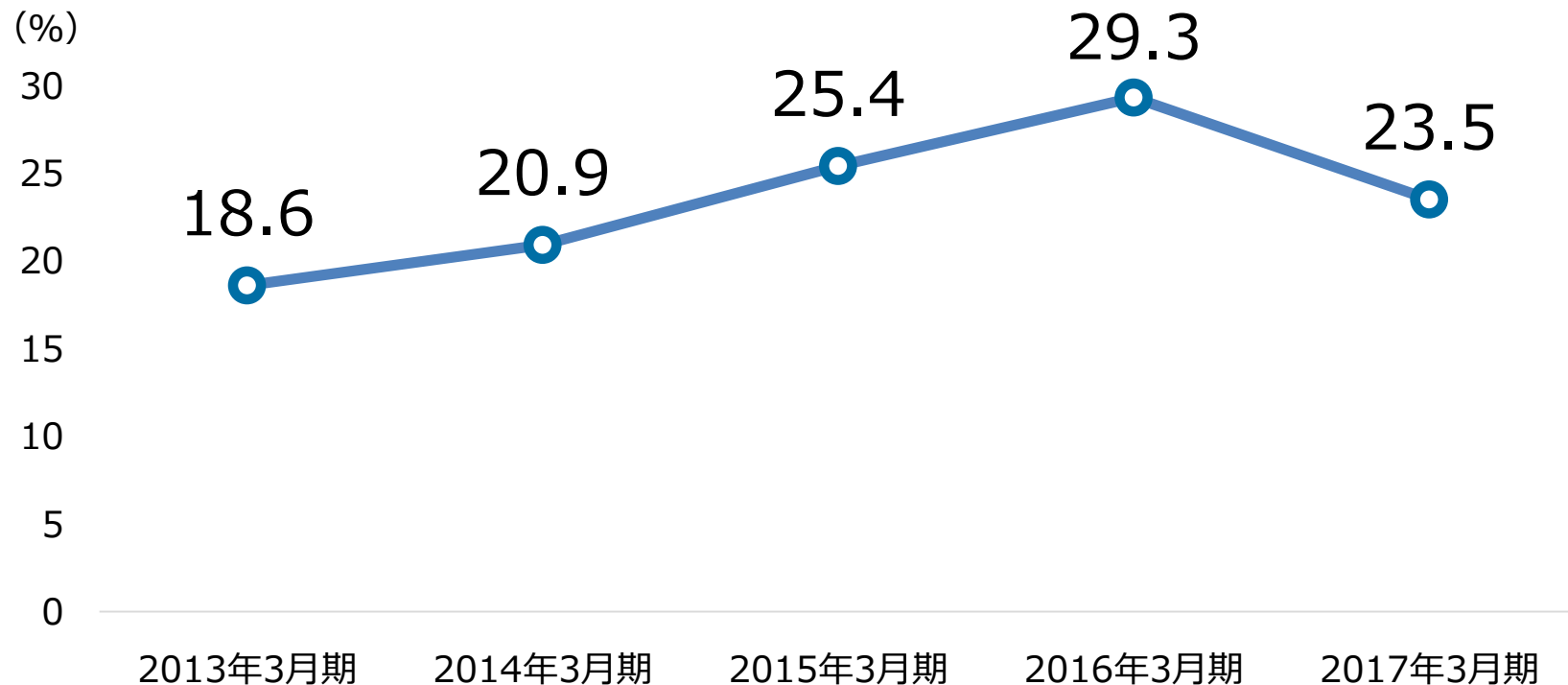
(億円)





# ROE（自己資本当期純利益率）の推移

2014年3月期よりROE20%超で推移



# 最新決算サマリー | 2017年3月期（2016年4月-2017年3月）

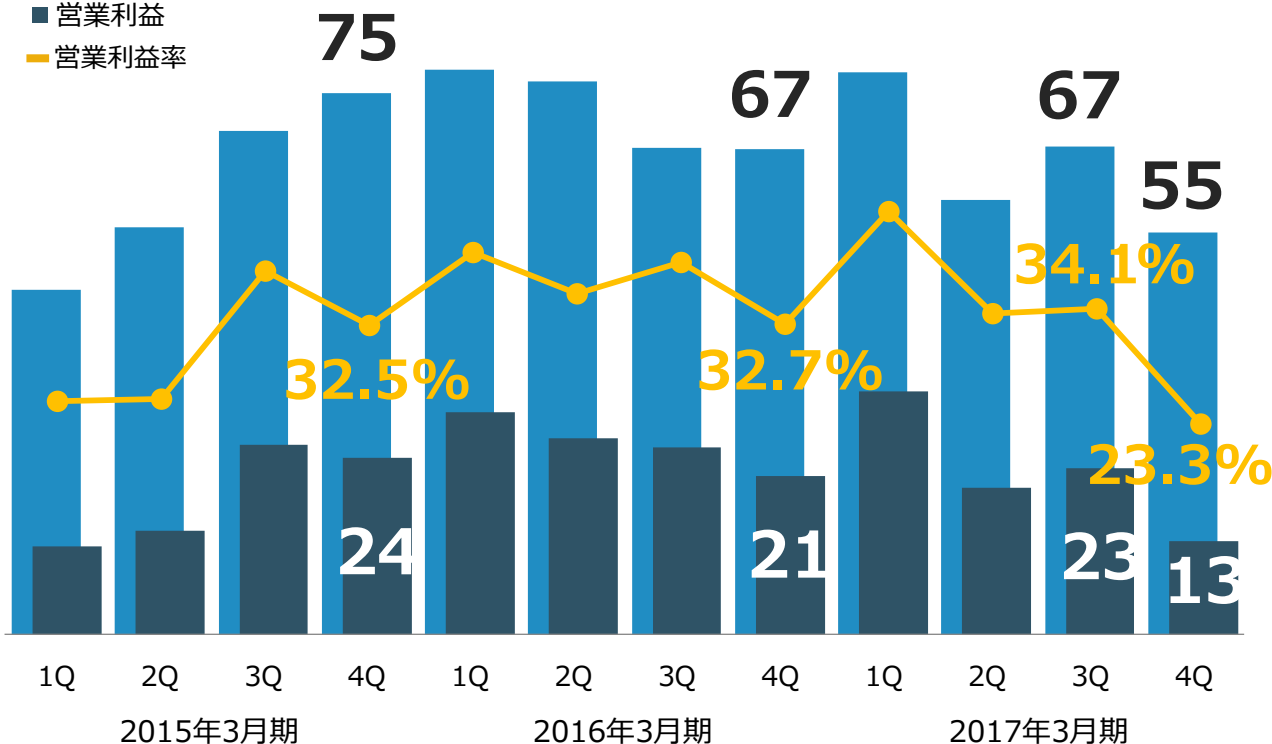
## 店頭FX収益等の減少により減収減益

(億円)	2016年3月期 (4-3月)	2017年3月期 (4-3月)	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	290.1	<b>261.9</b>	▲28.2	▲ 9.7%
純営業収益	274.2	<b>248.2</b>	▲25.9	▲ 9.5%
営業利益	106.1	<b>90.1</b>	▲15.9	▲15.0%
経常利益	105.7	<b>89.2</b>	▲16.4	▲15.5%
最終利益	64.5	<b>61.5</b>	▲ 2.9	▲ 4.6%

# 四半期業績推移 | 営業収益・営業利益

(億円)

■ 営業収益  
■ 営業利益  
— 営業利益率



4Q (1-3月)  
ドル円の収益性低下  
FX収益減少し、  
収益利益が減少  
足元は回復基調

## 2. 成長戦略と概況

## 方針

### 強いものをより強くする

収益の柱であるFXをさらに強くし、事業基盤を強化  
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る

#### 国内 事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

#### 海外 事業

- 黒字定着し攻めの体制

#### 新規 事業

- 新たな金融商品・事業の展開

## FX

- ビッグデータ解析基盤構築し、より高度な分析で収益率向上
- 取引ツールのユーザビリティ向上を図り、顧客取引活性化



## CFD

- 取扱銘柄追加や新取引ツールの投入、既存の取引ツールのユーザビリティ向上等により、収益拡大を図る



## 2017年3月期

- 新商品・サービスの拡充に注力し、サービスの使いやすさを強化



## 2017年4月以降

- あおぞら銀行グループとGMOインターネットグループの新ネット銀行との銀証連携で、使いやすさ強化し顧客基盤拡大を図る



2018年春開業予定

## GMOクリック証券が金融業界で初めて 仮想現実(VR)空間でのFX取引を実現するアプリを提供

VR技術を使い、仮想空間上にディーリングルームを展開  
視線を合わせることで、為替チャートの拡大/縮小、  
通貨ペアの選択や売買の注文が可能



人工知能(AI)活用も視野に今後もVR×金融でのサービス展開の可能性を探求

※Android版は2017年1月31日、iOS版は2017年2月1日にリリース



## 将来への投資として海外事業を推進

### GMOインターネットグループの世界展開ブランド“Z.com”を活用

ロンドン

2015年3月にFX/CFDサービス開始  
展示会に出展し、ロシア語圏からの集客も開始  
規模は小さいものの着実に口座数、収益は伸長

2012年8月より香港でFXサービス開始  
その後、CFDサービスも開始  
現在は主にマーケティング拠点として活動  
中国をメインターゲットに英国に送客

香港  
バンコク

2016年11月にタイ王国に子会社設立  
優秀なエンジニア・人材を集めて開発推進中

**Z.com**

今秋、ネット証券事業  
開始予定

※タイ王国における事業の開始は、タイ王国における証券業ライセンスの取得が前提

## GMOインターネットグループのグローバルブランド「Z.com」 アジア圏でサッカーマーケティングを展開

# Z.com



日本代表  
香川真司選手



タイ代表  
チャナティプ・ソングラシン選手



ミャンマー代表  
チョー・コー・コー選手



ベトナム代表  
グエン コン フォン選手

GMOインターネットグループにおいて  
仮想通貨の交換および取引事業を担う  
GMO Wallet(現GMO-Z.comコイン)へ35%出資



5月9日より  
口座開設の先行申込受付  
開始

**Z.com** コイン by **GMO**

### 3. 株主還元

基本方針：株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うこと

目標

連結配当性向

**50%** (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 3月期	9.70円	6.15円	6.68円	3.64円	26.17円
2016年 3月期	6.38円	5.60円	5.34円	5.00円	22.32円

## 優待の内容

**GMOクリック証券** における

1. 売買手数料相当額最大15,000円キャッシュバック
2. GMOクリックHD株式買付手数料相当額キャッシュバック

## 優待基準日

2016年6月末日、2016年12月末日

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。  
<https://www.gmo-click.com/ir/stock/benefit.html>

- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は5年間ずっとと世界No.1
- 株式は大手ネット証券の一角。今後さらに伸ばす
- 主力のFXを更に強化し既存/新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

金融サービスをもっとリーズナブルに  
もっと楽しく自由に

**GMO** クリック **HD**  
ホールディングス



# Appendix

# 会社概要

会社名	GMOクリックホールディングス株式会社 (GMO CLICK Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	545百万円 (2017年3月31日現在)
連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライムbyGMO GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国) GMO-Z com Securities (Thailand) Limited (タイ王国)
連結従業員数	277名 (2017年3月31日現在)

# 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度 <sup>※</sup>	4月1日～翌3月31日
定時株主総会 <sup>※</sup>	毎年6月
定時株主総会基準日 <sup>※</sup>	3月31日
剰余金の配当基準日 <sup>※</sup>	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL：0120-232-711（東京） / 0120-094-777（大阪） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a> なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
公告方法	電子公告 公告URL <a href="https://www.gmo-click.com/">https://www.gmo-click.com/</a> ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※2017年6月25日開催予定の第6期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期（事業年度の末日）を現在の毎年3月31日から12月31日へと変更する予定です。

# 株式の状況

## ■ 大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
GMOインターネット株式会社	96,243,100	81.00
株式会社大和証券グループ本社	11,100,000	9.34
高島 秀行	1,993,975	1.67
カブドットコム証券株式会社	829,300	0.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	502,300	0.42

## ■ 所有者別分布状況

(株式数ベース)	株式数 (株)	比率 (%)	(株主数ベース)	株主数 (人)	比率 (%)
金融機関	911,400	0.76	金融機関	8	0.08
金融商品取引業者	1,312,340	1.1	金融商品取引業者	23	0.23
その他の法人	107,539,300	90.51	その他の法人	58	0.58
外国法人等	577,301	0.48	外国法人等	37	0.37
個人・その他	8,465,208	7.12	個人・その他	9,772	98.72

※2017年3月31日現在

https://www.gmo-click.com/ir/

The screenshot shows the website's navigation bar with the following items: ホーム, 会社情報, グループ紹介, **IR情報** (circled in red), ニュースリリース, 採用情報. Below the navigation bar, the page title is 'IR情報' and there is a breadcrumb trail 'ホーム > IR情報'. The main content area is divided into two sections: a sidebar on the left with a blue header 'IR情報' and a play button icon, containing links for 経営方針, IRニュース, 月次開示情報, 財務・業績ハイライト, IR資料室, IRカレンダー, and 株式情報; and a main content area on the right with a blue header '最新IRニュース' and a '一覧を表示' button. The main content area lists three news items: 2017年05月16日 リリース 平成29年4月の月次業績（速報）に関するお知らせ (170KB); 2017年05月15日 お知らせ 決算説明会動画を掲載しました。; and 2017年05月09日 お知らせ IRカレンダー（個人投資家向け会社説明会）を更新しました。

業績に影響を及ぼすFX取引高や株式委託売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次開示情報として毎月開示しています。

また、決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

## 免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。